

INAXガレリアセラミカは“新鋭作家による新しいやきものの表現の場”として企画展を開催しています。

## 梶木奈穂 展 古陶磁的 チャイナドリーム

会期 = 2009年7月7日(火) ~ 8月1日(土)

休廊日 = 日曜・祝日

開館時間 = 午前10:00 ~ 午後6:00

作家によるアーティストトーク開催 = 7月7日(火) 午後6:30 ~ 7:00

会場 = INAXガレリア セラミカ

東京都中央区京橋3 - 6 - 18 INAX:GINZA2F TEL03-5250-6530

企画・制作 = 株式会社INAX

入場無料

INAXの文化活動ホームページアドレス<http://www.inax.co.jp/culture/>



「龍虎坐 ~ from あばよ達 ~」 2008年 W75/D45/H55cm

画像をご希望の方は、メールにて画像データを送付いたしますのでお申し出ください。

【メール】[e.ohashi@i2.inax.co.jp](mailto:e.ohashi@i2.inax.co.jp) 【担当】大橋恵美

次回予告  
セラミカの夏 器・オブジェ・道具たち 展  
2009年8月6日(木) ~ 9月1日(火)

INAXガレリアセラミカでは、梶木奈穂(Kajiki Naho)展 古陶磁的 チャイナドリームを開催します。(2009年7月7日～8月1日)

梶木奈穂の作品は、白い磁土に色鮮やかな絵付けをしたユーモラスなオブジェです。1点の大きさは30～50cmで、5～6点でひとつの世界をつくれます。

梶木奈穂は2008年に大学院を修了したばかりの20代。大学院1年の制作展では「カジキュー挿ランド」を制作しました。

「カジキュー」は苗字の梶木と「富士急ハイランド」をもじって名づけられています。梶木は作品タイトルを先に考え、音や韻を踏む言葉から連想して作品をつくれます。

真ん中に置かれた「HONZON(本尊)」は、金色の唐草模様付桃の上に載った青磁の茶碗です。両脇に小さな仏像がメリーゴーランドに乗った「蓮花メリー壺」と、これまた小さな涅槃仏がシーソーに乗った「蓮の上シーソー壺」を従えています。読経の際に鳴らす鐘は「乳滴鐘」で、ミルクのクラウンのかたちをしています。

なんとも愛らしく、誰もがくすっと笑ってしまう世界。中国雑貨のユーモラスさと「ボーンチャイナ」伝統の美しい絵付けが合わさり愛玩したくなるような作品です。

昨年二人展「天邪鬼」でも、地球儀、ランチュウのような水盤、盆栽や曼荼羅など、誰もが知っているモチーフを基にして、独創的なかたちをつくり上げました。全方向から眺めて飽きない細部にこだわった作品です。

梶木奈穂のこの独特の感覚は、幼い頃から「キョンシー」映画が大好きで、アジアの呪術的な世界に惹かれ、景德鎮へ留学したことがベースにあります。同じ中華的エキゾチズムでも、香港や台湾の都会的なキッチュな感覚よりも、本土の土っぽい感覚が好きで、今展では昨年訪れた重慶をモチーフに新作が登場します。

重慶の霧深い長江の川原、射的やお面を売っているレトロな出店。そのタイムスリップしたような不思議な雰囲気をもモチーフに制作をします。中国茶器、占い盤、双六などをモチーフにしたオブジェで構成された「マボロシ・チョンキンパーク」が展示される予定です。

中国古陶磁の緻密で繊細な表現をかりながら、愛玩したいコンテンポラリーオブジェをつくりだす梶木奈穂の世界をお楽しみください。

「梶木奈穂 略歴」

1981 兵庫県姫路市出身

2006 筑波大学芸術専門学群特別カリキュラム窯芸コース卒業(2002年日本画コースから転科)

2008 京都市立芸術大学美術研究科陶磁器専攻修了

2003 中国政府奨学金にて景德鎮陶瓷学院留学(～2005)

〈個展〉

2006 かじき・じき展(ギャラリー北野坂 / 神戸)

〈グループ展〉

2006 陶のかたち展(ギャラリー北野坂 / 神戸)('08, '09)

2007 ニッポニアニッポン展(ギャラリー北野坂 / 神戸)

日米美術学生展(ISE Cultural Foundation / ニューヨーク)

PIECES(海岸通ギャラリーCASO / 大阪)

日中韓現代陶芸 - 新世代の交感展 - (韓国工芸文化振興院 / ソウル)

陶 院 2 展(京都芸大ギャラリー / 京都)

2008 tetete exhibition - with 安藤隆一郎、染谷聡(ギャラリー葵庵 / 京都)

日中韓現代陶芸 - 新世代の交感展 - (石湾陶瓷博物館 / 中国佛山)

天邪鬼展 - with 花塚愛 - (牙狼画廊 / 横浜)